

事業所名		HARVEST					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室とのスペースとの関係で適切であるか。	5	0	集団活動、個別活動で使用スペースを調整し、工夫しながら空間を使っています。	個々の特性や状況を踏まえて訓練室を分けるなど、職員同士連携をとりながら空間を使っています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	事業所間での移動体制や、代行連絡調整ツールを用いてサポートできる体制を整えています。	事業所間での移動体制や、代行連絡ツールを使用し安全に療育が受けられるように努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	玄関や廊下、トイレ等にイラストを用いた視覚提示をしています。玩具が収納されているボックスには名称記載があり、ラックへと片付けやすい工夫がされています。	引き続き理解しやすい構造化された環境設定をしています。児童特性に合わせて、机上作業時がしやすいような構造化された設定なども用意していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	整理整頓を意識し、隙間時間や活動終了後に換気や清掃を徹底しています。	引き続き整理整頓を実施し、生活空間を整えていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	子どもの様子や状況を職員間で共有し、児童に合わせた環境を作っています。	今後もより良い療育が提供できるように努めていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	事業所内で話し合う機会を設け、業務改善に向けて取り組んでいます。	今後もより良い療育が提供できるよう努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	取りまとめた意見を参考に社内で話し合いを設け、改善する点や質を向上できるように業務改善に取り組んでいます。	早急な課題に対してはすぐに取り掛かり、改善に向けて内容の見直しを行います。サービス向上のために、保護者向けアンケートの実施なども考えています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	日々の申し送りや、事業所ミーティングにて意見を出し合い改善につなげています。	今後も職員の意見交換の場を設け、業務改善につなげていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	定期的に外部評価を受け業務改善に繋げています。	評価結果を職員間で話し合い業務改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	今年度は内部研修や講師を招いた2回の外部研修を実施しました。内部・外部研修を定期的に実施できる機会を設けています。	内部・外部研修の機会を定期的に確保し、職員の知識・資質の向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	個別支援計画の目標に基づいたプログラムを作成し、公表を行っています。	引き続き支援プログラムの作成、公表に努めています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	お子様の情報に加え、各評価・検査を基に話し合いを計画を立てています。	お子様の情報に加え、各評価・検査を基に話し合い、計画を立てて取り組んでいます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援の方向性や方法など職員間で話し合う場を設けて検討を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	保護者様からお伺いした情報を元に、評価と合わせてご要望に沿える支援ができるよう努めてまいります。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	自社内の評価項目を選定し、運動(協調性)・学習・言語理解などへの検査を実施しています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	支援計画の内容に基づいて療育を実施できるように心がけるとともに、わかりやすく丁寧な説明が行っているよう継続して実施していきます。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	室内での活動を検討するチームを構成し、季節や時期に応じた内容を提供できるように心がけています。	引き続き職員間で情報共有を行い、楽しく学べる療育ができるよう努めていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	チーム内で日々検討しています。	お子様が毎回楽しく参加できるように職員間で日々検討・工夫し、支援目的とプログラムにズレがないよう取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別活動と集団活動がうまく組み合わせるように療育を展開しています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めています。	
適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	午前中と終業後に振り返りや翌日の活動の動きと役割分担を確認しています。	お子様の情報を共有し、職員間でフォローし合い万全の態勢で対応できるよう取り組んでいます。今後もより良い療育をご提供できるよう努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	保護者様や園で伺った情報はすぐに共有し、支援の内容に反映できるように心がけています。	共有漏れがないよう職員同士声を掛け合うようにします。今後もより良い療育をご提供できるよう努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	データとして保存し、日々活用しています。	スタッフ全員がよりよい支援を提供できるよう話し合う機会を設け、支援の検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	モニタリングのスケジュール調整など相談員と連携、協力をしています。	モニタリング時に情報提供できるよう日々の記録から内容や目標設定の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	モニタリング前に各担当者で話し合いの場を設けて情報共有しています。	今後管理者以外も参加の機会を増やし人材育成に努めています。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	各関係機関と連携して支援が行えるように、日々情報収集と情報共有を行っています。	必要に応じ体制を整えるなど、各方面の関係機関と連携できるように配慮していきます。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	要請のある各園に出向き、児童の情報共有や連携体制の取り方を話し合い、児童にとってより良い環境や支援体制が得られるよう努めています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご質問下さい。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	要請のある各園に出向き、児童の情報共有や連携体制の取り方を話し合い、児童にとってより良い環境や支援体制が得られるよう努めています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご質問下さい。	

関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	技術向上のために専門機関での研修を受けています。	今後も地域での会議や研修に参加していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	感染症を鑑みて密になる活動を避けていましたが、昨今の状況から今後は地域交流を促す活動も検討していきます。	今後は積極的に参加できるような機会を設けていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	直接話せない保護者様には連絡ノートを活用し療育内容や成長ポイント、自宅でのトレーニングの提案を行っています。また保護者さまからのご相談やお悩みもノートで受け付けております。	お会いできる時間に悩みごとについての聴取を行っております。また、連絡ノートやLINE等でわかりやすく丁寧な説明を継続して実施していきます。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	YOUTUBE配信での保護者向け勉強会を定期的に開催しております。子ひとりひとりの特性を鑑みて、悩みに対する対応策などを提示しております。	面談の機会を設けたり、連絡ノートにてわかりやすく丁寧な説明を継続して実施していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	利用開始時に説明の徹底をしています。	利用途中でも質問がありましたらお問合せ下さい。今後も保護者様により分かりやすく説明ができるよう努めていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	定期的に保護者様とお話する機会を設けています。直接お話しすることが難しい場合はノートやLINEを活用し意向確認を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	保護者様には計画書を提示しながら支援内容の説明・確認を行い、サインを頂くことで同意を得ています。	リストを作成することで説明や確認漏れを防いでいます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	お会いできる時間に悩みごとについての聴取を行っております。また、連絡ノートやLINE等でわかりやすく丁寧な説明を心がけています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さるよう声をかけさせていただいております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	事業所で協力できることを行っています。また、保護者様、ご兄弟参加の活動を開催し、交流する機会を設けています。	今後も保護者同士の交流を促す活動を増やしていけるように検討していきます。
保護者への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	第三者委員会の設置やマニュアルを設け、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	現在たくさんのご相談や見学の申し込みを頂いており、順次受け入れさせていただいております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	行事予定や活動内容についてホームページやLINE、Instagram、Facebookにて発信しています。	月に1回お渡ししている営業日のご案内用紙に各種QRコードが印刷されております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	厳重に取り扱っております。	引き続き職員一人一人、意識を高め個人情報の取り扱いには細心の注意をおこなってまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	同意を得た後に、連絡ノートや電話等での情報共有を行っています。	今後もお子様、保護者様とのコミュニケーションを一つ一つ大事にさせていただきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	現在、行事に地域の方の招待は行っていません。しかし事業所でのイベントとして海岸清掃を実施した際には、地元のご協力を得てごみ処理を行っています。	今後も新しい企画などで地域コミュニティの1つになれるようにしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各事業所毎に防災訓練や感染症対策など年間スケジュールを立てて実施しています。	年間スケジュールを組み、火災・震災の避難訓練を実施しています。職員研修にて各種マニュアルの認識を深めると共に想定訓練を実施しより安全に避難できるよう対策を立てていきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	全員参加で火災・震災の避難訓練を夏と秋に実施しています。	年間スケジュールを組み、火災・震災への学習時間を持ち、避難訓練を実施していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	利用時に全員に問診にて確認をしています。	保護者様との連携を深め、お子様の変化等にすぐ気づけるよう努めていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	食事を伴う活動の際は、保護者様へ確認を行い、必要に応じて医師の指示書に合わせた対応を実施しています。	食事を伴う活動の際はアレルギー確認を行い、個々に合わせた対応をしています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	スケジュールを組み、災害関連の避難訓練を実施しています。	今後も必要な研修や訓練が実施できるよう計画を作成していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	避難訓練や交通安全指導等の実施内容については、お知らせに記載したり、SNSやHPにて情報を発信しています。	今後ご家族等へ周知できるように努めていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5	0	組織内・全体ミーティングにおいて月に1回報告の機会を設けています。	事業所間でのヒヤリハット報告や想定ヒヤリハット等事例検証を行い、防げる事故は事前に対処できるよう努めていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を設置しています。定期的な研修を行い啓発活動を実施しています。	定期的な研修会や周知にて職員の知識向上、意識改革を行っていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	身体拘束適正化検討委員会を設置しています。委員会スタッフによりマニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。必要性がある場合、保護者様とご相談の上決定させていただきます。	止む終えず拘束対応する場合はマニュアルに準じて行動できるよう情報の共有をします。止む終えず身体拘束の必要性がある場合は、必ず保護者様と相談の上で決定させていただきます。

事業所名		HARVEST GAT		公表日		令和7年2月7日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	個室空間や学習空間を分け、児童個々に応じた対応ができるようにしています。	人数が多い場合や使いたいものが重なっている時は、職員間で話し合いながら実施していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	利用児童に対し適切な数の職員が配置されています。	お子様が安全に療育が受けられるように努めていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	8	事業所入口前に段差がありますが、段差昇降に困難のある児童がいれば必要に応じて補助を行っています。	バリアフリーに関しては、お子様の状況に合わせて対応させていただきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日清掃と消毒を行い、清潔を保つようにしています。整理整頓を行い、広い空間の確保や安全面の確保に努めています。	今後もお子様ที่清潔な空間で療育を受けられるように努めていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	個室空間を設け、児童個々に応じて使用できるようにしています。	使用したい人数が多い場合や使用したい時間が重なっている時はスタッフ間で話し合いながら実施していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	児童の担当職員だけでなく、職員全員が参加しミーティングを行っています。児童の情報共有、療育内容の検討、目標設定の確認をしています。	今後より良い療育を提供できるように努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎年実施し、結果を事業所ホームページに掲載しています。頂いた意見を職員で共有し業務改善に努めています。	更なる業務改善に向けご意見を頂く機会を増やしていきます。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員全員でミーティングを行い、意見を業務改善に反映させています。	引き続き、職員間で意見交換ができる機会を設けていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	定期的な外部評価を受け、評価結果をもとに業務改善に努めています。	引き続き、スムーズな業務に繋がるように改善に努めていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	2か月に一度(年に6回程度)、全職員での研修を実施しています。	今後も勉強会や研修機会を設け、職員の質の向上に努めていきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	児童と保護者のニーズを確認し、全事業所で共通の評価を用い、評価をもとに計画書の作成をしております。	より分かりやすい説明ができるように努めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	児童と保護者のニーズを確認し、全事業所で共通の評価を用い、評価をもとに計画書の作成をしております。	より分かりやすい説明ができるように努めていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	計画書の作成は児童発達支援管理責任者と担当職員で行っています。作成にあたり職員間で情報共有し、お子様の最善の利益となるよう検討を行っています。	引き続き、お子様の最善の利益となるように職員間での情報共有と支援方法の検討を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	事業所内での会議の場において職員間で共有する時間を設けております。	引き続き、職員間の共有と計画に沿った支援が実施できるように努めていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	全事業所で共通した評価ツールを使用し実施しております。	より分かりやすい説明ができるよう努めていきます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ガイドラインをもとに支援内容を選択し、設定しております。	より分かりやすい説明ができるよう努めていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	チームで運動、SST、ゲーム、工作などの活動プログラムを立案し実施しています。	引き続き、職員間の情報共有を行いプログラムの立案に努めていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	週替わりで活動プログラムを変更し、児童により難易度を調整しながら様々な経験を積んでいただけるよう工夫しております。	利用日ごとに活動に変化を加えながら児童の問題点にアプローチする内容となるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	お子様の様子に合わせ活動内容の検討を行い、個別活動と集団活動を組み合わせ支援計画を作成しております。	今後より良い療育を提供できるよう努めていきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援開始前に支援の内容や職員の役割分担について確認を行い、支援後に振り返りを行っています。	より分かりやすい説明ができるよう努めていきます。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援終了後に職員全体でのミーティングを行い、療育内容の振り返りや次回利用時の支援内容の検討を行っています。	今後より良い療育を提供できるよう努めていきます。		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	支援に関する日報を記載しています。支援の際の状況や内容がわかるように記載し、支援の検証、改善に利用しています。	今後より良い療育を提供できるよう努めていきます。		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	利用開始時、モニタリング月、誕生日に計画書の見直しを行い、作成した計画書を保護者へ配布しています。	モニタリング時、見直しの必要性を説明させていただきます。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	事業所管理者が出席しております。管理者と担当職員で児童の情報を共有しています。	今後管理者以外も参加の機会を増やし、精通した人材育成に努めていきます。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	相談支援事業所、園、役場等連携しています。必要な情報を共有し、連携した支援を行っています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	支援内容の情報を共有できるよう、児童が当事業所を利用している様子を見学していただいたり、保育所等訪問事業を実施しています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	支援内容の情報を共有できるよう、児童が当事業所を利用している様子を見学していただいたり、保育所等訪問事業を実施しています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。	

関係機関 や保護者 との連携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	三重県立子ども心身発達医療センターと連携し、研修会へ参加をしています。今後も連携を深め、プロフェッショナルとして支援を提供できる人材の育成に努めます。	今後もより一層連携を深めていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	園への巡回事業である「療育巡回」を実施しており、地域への参加機会があります。	事業所外活動を行う機会を増やしていきたいと考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	事業所ご利用の時間内で話し合う時間を設けております。話し合いの中で児童の状況や課題について共通認識を持てるよう努めています。直接会うことが出来ない保護者様には連絡ノートを使用し情報伝達、情報共有を行っております。	今後もより良い療育に繋げていきます。
保護者 への説明 等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	今後もより良い療育に繋げていきたいと思っております。	今後もより良い療育に繋げていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	ご契約の際に説明をさせていただいております。また、それ以降にご不明な点、ご質問等には随時お答えしています。	今後も保護者様が分かりやすい説明ができるよう努めていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	日々のコミュニケーションやモニタリングを通して確認しています。	日々のコミュニケーションやモニタリングを通して確認していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	個別支援計画書を保護者様に配布させていただいております。配布する際には支援内容について説明を行い同意をいただいております。	今後も保護者様がより分かりやすいご説明ができるよう努めていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	事業所ご利用の時間内でお話を伺い、お悩みにお答えしています。直接会うことが出来ない保護者様には連絡ノートを使用しやりとりを行っています。必要に応じて別日でも話し合いの場を設け、実施することもあります。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	保護者様に対してお悩み相談、勉強会等を開催して支援を行っています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	第三者委員会の設置やマニュアルを設け、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	現在多くのご相談や見学の申し込みをいただいております。順次受け入れさせていただきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	2ヶ月に1度全事業所統一でイベント案内を発行するとともに、チラシの掲載、ホームページ、SNS (Instagram, Facebook) で様々なお知らせや事業所の様子を紹介しています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	会社全体でのミーティングにて個人情報への認識を高めております。個人情報厳重に扱うことを全職員で徹底しています。	引き続き、個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	個人情報遵守を徹底し、事業所専用タブレットで児童の様子を撮影し本人、保護者様とお話する際に用いています。なるべく情報を可視化して伝達できるよう心がけています。	今後もお子様、保護者様とのコミュニケーションを大切にまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	昨年度は隔月で実施しているイベントにおいて地域住民の方々にご協力をいただき、海岸清掃を実施しました。今後も地域の方々と繋がりを持ったイベントを実施したいと考えています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	非常時 等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	社内で各委員会を設立し、マニュアルを作成しています。研修会にて各委員会による勉強会を行い、職員全体での周知に努めています。また、防災訓練や感染症対策などの集団活動を行い、その中で発生を想定した訓練を実施しています。行った訓練の内容は保護者様へお伝えしています。
46		業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	非常災害発生時におけるマニュアルを作成し、職員間で周知するようにしています。児童が地震、火災といった災害について学ぶ機会を設け、避難訓練を定期的に行っています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	保護者様から聴取させていただくことに加え、契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしています。記載していただいた内容は事業所職員で情報を共有し把握するようにしています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	アレルギーに関しては保護者様からの聴取に加え、契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしています。記載していただいた内容は事業所職員で情報を共有し把握するようにしています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	研修会にて各委員会による勉強会を行い、職員全体での周知に努めています。また、防災訓練や感染症対策といった内容の集団活動を行い、その中で発生を想定した訓練を実施しています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	行った訓練の内容は保護者様へお伝えしています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット事例集を作成しています。実際にあったヒヤリハットや現場で想定されるヒヤリハットな状況を全職員で考え、ケガや事故の予防に努めています。	引き続き、事故がないよう注意してまいります。
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止委員会を設置しています。委員会でマニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。	引き続き、職員の技術・知識向上のため研修機会を多く設けてまいります。
53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	身体拘束適正化検討委員会を設置しています。委員会でマニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。やむを得ず身体拘束を行う必要がある場合は、マニュアルに準じて決定いたします。身体拘束に関しては初回利用時にお渡しする「利用契約書第6条」に記載しています。	身体拘束の必要性がある場合、保護者様とご相談の上決定させていただきます。

事業所名		公表日		和令7年2月7日		
HARVEST BASEWORKS						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	職員間で連携をして使用の確認を行ないながら、フロアや個室を使用できるようにしています。	今後も職員間で連携を行なっていき、フロアや個室を利用していけるようにしていきます。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	施設基準を満たしております。	今後もお子様及安全に療育を受けていけるように努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	トイレには手すりを設置し、玄関に段差はなく、駐車場を含めてバリアフリー化しております。	今後も必要に応じて対応させていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日清掃を行ない、お様が清潔な空間で療育を受けて過ごせるように努めております。	今後もお様が清潔な空間で療育を受けて心地よく過ごしていけるように努めていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	職員間で連携をして使用の確認を行ないながら、個室などを必要に応じて使用できるようにしております。	今後も職員間で連携を行なっていき、フロアや個室を利用していけるようにしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	職員間で情報共有を行ない、業務改善に向けて取り組んでおります。	今後もよりよい療育を提供できるように努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	配布したアンケートでの保護者様からのご意見を確認し、更なる業務改善へとつなげていけるように努めております。	アンケートでいただいた保護者様からのご意見を確認していき、更なる業務改善へと繋げていけるように努めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日の打ち合わせや事業所会議で意見等を把握する機会を作り、業務改善へとつなげていくことに努めております。	今後も職員の意見等を把握する機会を続けていき、更なる業務改善へとつなげていくように努めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	定期的な外部評価を受け、業務改善につなげていけるように努めております。	今後も引き続き外部評価を受けていき、更なる業務改善へとつなげていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	二ヶ月に一度、全事業所職員が集まり、職員研修を実施しています。	今後も研修や勉強会を通して、職員の知識や資質の向上へと努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	お様に合った支援プログラムを作成し、保護者様に説明をさせていただいております。	保護者様への配布の際にご説明をさせていただいております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	お様の普段の様子や現在の困りごと等を保護者様とお話ししていき、児童発達支援計画を作成しております。	今後も保護者様とお子様のごことのお話ししていき、ニーズや課題を考えながら児童発達支援計画を作成していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	児童発達支援管理責任者と担当支援者が話し合いをしながら児童発達支援計画を作成しております。	今後も児童発達支援管理責任者と担当支援者が話し合いをしていき、お様に合った児童発達支援計画を作成していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	児童発達支援計画に沿った支援を行っております。	引き続き、計画に沿った支援を行なっていくことに努めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	標準化された評価を用いて実施しております。	全職員が一定した方法で実施していけるよう指導しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインに沿って児童発達支援計画を作成し、療育を実施しております。	今後も支援内容やねらい等を保護者様により分かりやすくご説明ができるように努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	運動課題やゲーム、SST、工作、季節やその時期に応じた遊びなどをご提供できるように努めております。	今後も職員間で活動プログラムの立案を行ない、よりよい療育をご提供できるように努めていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	活動プログラムを固定化せずにお様が楽しめるように工夫をしながら考えております。	今後も職員間で活動プログラムの立案を行ない、よりよい療育をご提供できるように努めていきます。
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	保護者様からの聞き取りやニーズに合わせて児童発達支援計画を作成し、お様の様子に合わせて個別と集団の活動を設定しております。	今後もお様の様子に合わせて個別活動と集団活動の活動を取り入れて療育を行なっていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援開始前に職員間での打ち合わせをしており、支援内容の確認や情報共有を行っております。	今後も引き続き支援開始前に職員間での打ち合わせをしていき、情報共有を行なっていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	支援終了後に職員間での打ち合わせをしており、支援内容の反省や情報共有、次回実施する療育内容について考えていくことを行っております。	今後も引き続き支援終了後に職員間での打ち合わせをしていき、情報共有を行なっていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	日々の療育内容に関しての日報を電子記録にて記録しております。	引き続き電子記録での日報を使用して記録をしていき、その時の状況を振り返ることができるようにしていき、今後もよりよい療育を提供できるように努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	定期的にモニタリングを行ない、児童発達支援計画の見直しを行っております。	お様の日々の成長に合わせて児童発達支援計画の見直しを行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	管理者が参加をしております。	今後は管理者以外の職員も参加の機会を作っていく、人材育成に努めていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	関係機関と協力を行っております。	引き続き、関係機関と一緒に進めていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	療育を見学して頂いたり、訪問させて頂いたりしていくことで情報共有や相互理解を進めています。	引き続き、保育所や認定こども園、幼稚園等との連携を図り、情報共有や相互理解に努めていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	移行支援のご希望がある場合、支援をさせていただき、情報共有と相互理解に努めております。	移行支援についてのご質問等がございましたら、お気軽にお尋ねください。引き続き連携を深めていくことに努めていきます。

関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	0	療育の見学や相談時間を設けています。	引き続き、児童発達センターとの連携を図っていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	多気町の保育園への療育巡回を行ない、保育園の子どもたちとの活動を実施しております。	今後も療育巡回を行なっていく中で地域の子どもたちとの活動に取り組んでいきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	日々の療育の中で保護者様とお話しする機会を作っております。	今後も保護者様とお話ししていく中でお子様の発達の状況や課題について一緒に考えていき、共通理解をしていけるように努めていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	日々の療育の中で保護者様とお話しする機会を作っております。	今後も保護者様とお話ししていく中でよりよい療育を提供できるように努めていきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	初回利用の際に運営規程や支援プログラム、利用者負担等についてご説明をさせていただいております。	ご契約の際にご説明をさせていただいております。ご不明なこと等がありましたらいつでもお尋ねください。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	日々の療育の中で保護者様とお話しする際にお子様のことやご家族の方の意向等を確認させていただいております。	児童発達支援計画をお渡しする際に保護者様にご説明をさせていただいております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	半年ごとに児童発達支援計画を作成し、保護者の方に説明をしてからお渡しし、同意を得ております。	児童発達支援計画をお渡しする際に保護者様にご説明をさせていただき、同意を得ております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	日々の療育の中で保護者様とお話しする機会を作り、お子様のお悩みにお答えさせていただいております。	今後も保護者様とお話しする機会を設けていきます。お悩みや相談事などお気軽にお話しください。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9	現在は実施しておりません。	今後、事業所で協力できることに取り組んでいきます。
保護者への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	第三者委員会を設置し、迅速かつ適切に対応できるように努めております。	現在、たくさんのご相談や見学のお申込みをいただいております。順次受け入れをさせていただいております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	ホームページや公式LINE、InstagramなどのSNSで毎月イベントのお知らせや各事業所の様子などを発信しております。	今後もホームページや公式LINE、InstagramなどのSNSで療育の様子などを発信していきます。事業所のことなどを知っていただければと思いますので、是非ご覧ください。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報の取扱いに十分に注意を行ない、厳重に取り扱っております。	引き続き今後も細心の注意をして、個人情報を取り扱ってまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	日々の療育の中で相談をさせていただいております。	引き続き今後もお子様や保護者様とのコミュニケーションを大切にしていきたいと考えています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	保育所などへの訪問活動を実施しています。	今後は保育園や小中学校などへの介入を実施し、地域の子どもたちと触れ合える機会を作り出していきたいと考えております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	防災マニュアルを作成し、周知できるよう努めております。地震や火災の発生を想定した避難訓練をお子様と共に実施しております。	今後もお子様と一緒に避難訓練実施していき、マニュアルについて周知していきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	業務継続計画を策定して、非常災害の発生に備えております。地震や火災の発生を想定した避難訓練をお子様と共に実施しております。	今後もお子様と一緒に避難訓練実施していき、非常事態の発生に備えていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	ご契約時にお渡しする生類に記載をいただき、内容を把握して職員間で共有しております。	全職員でお子様のことを把握していき、今後も共有していくように努めていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	ご契約時にお渡しする生類に記載をいただき、内容を把握して職員間で共有しております。	全職員でお子様のことを把握していき、今後も共有していくように努めていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	9	0	安全計画を作成し、職員全体での研修を行ったり、地震や火災の発生を想定した避難訓練をお子様と共に行ない、安全管理に努めております。	今後もお子様と一緒に避難訓練実施していき、安全管理に努めていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	ご契約時に当事業所の緊急避難先が記載されているカードを保護者様にお渡しし、安全計画に基づく取り組み内容についてお伝えしております。	お子様と一緒に実施した避難訓練のことなどを保護者様にお伝えし、安全確保に努めていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	9	0	各事業所内で起きた怪我や事故のヒヤリハットの対応策を全事業所内で共有し、再発防止に向けた対策に努めております。	引き続き、怪我や事故が起こらないように今後も予防に努めていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会を設置し、マニュアルを作成しております。年間スケジュールを作成し、職員向けの研修を実施していくことで職員の知識の向上に努めております。	引き続き、職員の知識向上のための研修機会を設けていき、取り組んでいきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	当事業所は該当項目の支援を行っていません。身体拘束委員会を設置し、マニュアルを作成しております。年間スケジュールを作成し、職員向けの研修を実施していくことで職員の知識の向上に努めております。	身体拘束の必要性がある場合は、保護者様とご相談のうえで決定させていただきます。

事業所名	HARVEST UNITE		公表日		令和7年2月7日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	児童の特性や目標(運動・学習支援)に合わせた環境設定をしております。個室やパーテーションで仕切りを作るなど児童のクールダウンスペースの確保、個々に応じた対応ができるように設定しています。	利用人数によっては個室、パーテーションが足りない可能性があります。今後利用人数が増えても多くのお子様にもクールダウンのスペースの確保、お様が集中しやすい環境を提供できるようスペースの使用を工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用児童1人に対して支援者が常時1人以上で対応できるような配置となっています。 職員写真、名前をコルクボードにて展示しておりますのでご覧ください。職種紹介もしています。	怪我や事故が起きないように引き続きお様が安全に療育参加できる様に努めています。以前いただいた「職員の所持資格が分かりにくい」とのご意見を元に、職員写真と名前、資格を記載したボードを展示いたしました。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	生活空間に関しては段差を解消しバリアフリー化しています。日々支援者間で児童の変化や情報伝達を行い、支援者全員が児童に合った対応ができるようにしています。	トイレの手すりや玄関先のスロープなど必要に応じて対応させていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	清潔な空間を保つため掃除、消毒を徹底しております。物品を整理整頓し活動スペースを広く保つよう心がけております。整理整頓の徹底は児童が集中して取り組める環境、怪我をしないことにもつながっています。	新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症が未だに流行しておりますので、感染対策は徹底しています。お様がよく触れる玩具や遊具は特に消毒をまめに実施していきます。また空気を換気する際はお様が窓を乗り越えて外に出ていかないよう仕切りを付けるような対応が必要と考えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	児童の特性や様子に合わせて、環境調整が出来る様に個室もあります。	引き続き児童の特性や様子に合わせて、環境調整が出来る様に個室も使用していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	担当児童に対してメイン、サブ担当を決めています。メイン、サブが情報を共有し様々な視点から児童発達支援計画を立案しております。	引き続き職員同士の情報共有や職種の特性を活かした提案を形にしていけるよう努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎年実施し、その結果をホームページに掲載しています。そこから出た意見を元に、全事業所でより良い支援を提供できるよう業務改善に努めています。(保護者の方々が関心の高い交通安全、防災訓練等を取り入れております)	更なる業務改善に向け保護者様からアンケートを中心にご意見をいただく機会を設けていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日の申し送りや、毎月実施している事業所会議などで活発に職員からの意見を伺える場を設けています。そこから業務改善に努めています。	引き続き日々の申し送りや、毎月実施している事業所会議などで職員からの意見の把握に努めていきます。そこから業務改善繋げていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	定期的に集団指導やオンライン監査の外部評価を受けております外部評価の結果を元に会社全体で情報共有し、日々の業務改善に努めています。	引き続き外部評価を受け、評価結果を元に会社全体で情報を共有し、日々の業務改善に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	2か月に一度(年6回程度)全事業所支援者が集まり職員研修を実施しています。内容としては評価指標の確認、他職種間で支援内容や業務相談等話し合う機会を設けております。また外部の専門職研修への参加や、外部講師を招聘し、職員の技術向上に努めております。	今後も勉強会、研修を定期的に実施し、評価指標の確認や療育内容の発案など職員1人1人の質を向上していけるよう取り組んでまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	保護者様への事前聞き取りやニーズに沿って計画を立案しています。お様の様子に合わせて個別と集団での活動を設定しています。またPDCAサイクルに準じて計画の見直しを行っています。	全事業所で統一された評価やお子様プロフィール(聞き取り聴取資料)などをを用いることで全職員がお様の状況を理解した上で接することができるようにします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	年に2回作成しています。計画書作成前には運動、学習に応じた評価を行うとともに、メインとサブの担当支援者間で話し合い児童発達支援計画書類を作成しています。	支援内容や介入の目的をより分かりやすくするため、「どのような介入なのか」「どんな活動を実施したのか」など課題ごとの意味合いを記載するようにします。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	計画書の作成は担当職員が行っています。しかし計画の作成には管理責任者や他職員も共通理解の下で最善の利益を考慮する様にしています。	引き続き計画書の作成には管理責任者や他職員も共通理解の下で最善の利益を考慮する様にしていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	各職種の特色を活かし、チームで専門的な活動を立案しています。(運動課題、工作、ゲーム、SST等) 集団活動の内容は毎週変更しており、個別支援に関しては都度児童に合わせて難易度やルールを調整しています。	児童発達支援計画に沿って支援を実施します。療育参加時には必ず保護者様とお話する時間を設けておりますので、支援の振り返りや次回利用時の目標を立てることもございます。保護者の皆様とは密に連携をし支援の質を向上させたいと考えています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	評価を使用することで標準化された、結果をもとにできるようにしている。	全事業所で統一された評価やお子様プロフィール(聞き取り聴取資料)などをを用いることで全職員がお様の状況を理解した上で接することができるようにします。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインに沿って支援内容を設定しております。「家族支援」につきましては各児童に応じて保護者様のニーズや目標に沿った支援を行い、目標を達成するまでの過程を大事にしています。療育後は毎回保護者様とお話する時間を設けております。「地域支援」としましては自立支援協議会への参加、保育所等訪問事業を実施しております。	ガイドラインに沿って分かりやすい説明ができるよう努めます。保育所等訪問事業の詳細を皆様にご存知いただく機会を設け、より地域との繋がりを広げていけるようにしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	各職種の特色を活かし、チームで専門的な活動を立案しています。(運動課題、工作、ゲーム、SST等) 集団活動の内容は毎週変更しており、個別支援に関しては都度児童に合わせて難易度やルールを調整しています。	お子様の成長に合わせた遊びに楽しく参加していただけるように努めます。実施した遊びや課題にどんな意味があるのか、狙いがあるのかを保護者様にお伝えできるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	各児童に応じて保護者様のニーズや目標に沿った支援を行い、目標を達成するまでの過程を大事にしています。スモールステップを敷くことで成功体験を積み重ねることができるよう、活動プログラムは固定化せず、たくさん活動に参加していただけるよう工夫しています。	保護者の皆様とお話した内容やお様の状況に合わせて随時活動プログラムを変更します。お様が毎回楽しく参加できるように工夫し、支援目的と活動プログラムがズレないように取り組んでいきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	保護者様からの事前聴取やニーズに沿って計画を立案しています。児童の様子に合わせて個別と集団での活動を設定しています。またPDCAサイクルに準じて計画の見直しを行っています。	基本的には個別活動、集団活動どちらも実施しますが、お様の状況に合わせて適宜支援内容を変更していきます。

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	職員全員で必ず当日の支援内容や役割分担を確認しております。児童に怪我や事故等の危険が及ばないよう支援内容や職員の配置を意識して行動しています。	引き続き支援開始前には必ず職員間で打ち合わせをします。利用時間の切り替わりで事業所内にお子様が多くなる場合も怪我や事故が起きないように役割分担をして対応できるように努めます。
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	支援前後で必ず児童の様子、支援内容を全職員で振り返るようにしています。児童の情報を共有し、当日の反省等を次回に活かせるよう話し合いを重ねております。	引き続き支援開始前には必ず職員間で打ち合わせをします。支援後には振り返りを行い、次回実施する支援内容の検討や目標を決定するようになります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	支援内容に関しては日報に記載しています。いつ、だれが確認しても当時の状況を振り返ることができるような記載内容を心がけています。スタッフ全員がよりよい支援を提供できるよう話し合う機会を設け、支援の検証・改善につなげています。	引き続き日報をいつ確認しても当時の状況を振り返ることができるような記載内容にすることを心がけていきます。スタッフ全員がよりよい支援を提供できるよう話し合う機会を設け、支援の検証・改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	利用開始初月とモニタリング月、誕生日月に支援計画書を作成し、保護者様に書面配布しています。支援内容に関しましては日々吟味して提供しております。	日々成長していくお子様の状況に合わせ児童発達支援計画を見直していきます。定期的なモニタリング実施と見直しの必要性をしっかりと判断し、見直した内容を保護者様に分かりやすく説明できるように努めます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	当社代表もしくは事業所管理者が出席しています。担当支援者と密に情報を共有し、児童の様子や現状を把握しています。	今後は管理者以外のスタッフが参加する機会を増やし、サービス担当者会議に精通した人材育成に努めていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	医療的ケアが必要な支援児童の利用はありませんが、必要に応じ保護者様を通して主治医等と連絡を取ることで連携をしています。また、利用時にかかりつけの病院情報を聴取し、連絡体制を整えています。	医療的ケアが必要な事は事前に保護者様にご確認させていただきまます。連携期間の連絡先や情報を当事業所利用開始時に聴取させていただいております。必要に応じ体制を整えてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	依頼があれば対応できる体制にしている。利用児童と同様の職員が対応に当たるようにしています。保護者様を通して園や学校との情報共有を行い支援を実施しています。	「保育所等訪問」という事業を展開しています。今後保護者の皆様に知っていただく機会を設けていきたいと考えています。連携した支援についてご不明な点がございましたら気軽にスタッフまでお尋ねください。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	保育所等訪問事業を実施しております。就学予定児の保護者様を対象に勉強会や動画配信にて状況把握や理解を深めるよう取り組んでいます。	「保育所等訪問」という事業を展開しています。今後保護者の皆様に知っていただく機会を設けていきたいと考えています。連携した支援についてご不明な点がございましたら気軽にスタッフまでお尋ねください。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	9	0	実際にスーパーバイザー、バイジーと連携を図りながらお子様を見ていくケースもございます。関係性は良好です。	引き続きスーパーバイザー、バイジーと連携を図りながらお子様を見ていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	地域圏への発達支援・児童状況を把握する観点から「療育巡回」という巡回業務を実施しており、地域への参加機会があります。	今後は巡回地域の拡大を目指していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	利用時間内、毎回療育時間と保護者様と話し合う時間を設けております。話し合いの中では受診・服薬状況などをお聞かせ頂く事もあります。児童の状況や課題について共通理解できるよう努めております。	引き続き保護者様と話し合う時間を大切にします。児童の発達状況や課題について意見交換し、共通認識を持てるようにしていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	現在は児童に対して個別支援が中心となっておりますが、保護者様のお悩み、ご相談に応じて実施しております。	自宅での児童への関わり方やホームエクササイズの提案をさせていただいております。ペアレント・トレーニングについて興味がある、ご不明な点がございましたら気軽にスタッフまでお尋ねください。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	ご契約の際に説明をさせていただきます。初回の請求書をお渡しする際に再度説明を行っております。それ以降にご不明な点、ご質問等があれば随時対応させていただきます。	契約時に説明させていただいております。請求書をお渡しする際に再度丁寧な説明をするようになります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	全事業所で統一された評価やお子様プロフィール(聞き取り聴取資料)などを用いることで全職員がお子様や保護者様の意思を確認することができるようにしています。またその資料は毎年更新を行っております。	引き続き全事業所で統一された評価やお子様プロフィール(聞き取り聴取資料)などを用いることで全職員がお子様や保護者様の意思を確認していく様にいたします。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	サービスの利用にあたり計画書を保護者様に配布させていただいております。配布する際には支援内容について説明を行っており、約半年で計画の見直しを行っております。	引き続き児童発達支援計画書を保護者様に配布し、支援内容についての説明を行ってまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	事業所ご利用の時間内で話し合う時間を設けて、お悩みに対する助言ができるようにしていきます。また、必要に応じて別日でも話し合いの場を設けることもございます。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9	現在は実施しておりません	必要に応じて実施していきます。
保護者への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	はい、相談や申入れをいただいた際には迅速かつ適切に対応しております。	引き続き相談や申入れをいただいた際には迅速かつ適切に対応してまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎月全事業所統一でイベントを開催しており、月の半ば頃に案内を発行するとともに、SNS(ホームページ、Instagram、Facebook)でイベントのお知らせや事業所の様子を紹介しています。	現在は屋外活動や勉強会といったイベントの案内をチラシ配布、掲載、SNS等さまざまな方法でお知らせをしています。今後は療育で実施している活動内容の紹介や動画配信なども実施していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	会社全体でのミーティングにて個人情報の認識を高めております。個人情報は全スタッフ厳重に扱うことを徹底しています。	引き続き個人情報につきましては厳重に取り扱っていきます。会社全体のミーティングにて個人情報の扱いについての理解をより一層深める取り組みも継続していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	ご利用時には必ず支援者と保護者様で話し合う機会を設けております。その際、個人情報には十分配慮したうえで事業所での取り組みを事業所携帯で撮影し、ご確認いただいております。また連絡の際には、事業所専用LINEを使用しております。保護者様の使用しやすい手段で連絡をいただけるようにしております。	引き続き保護者様、お子様に分かりやすく情報を伝達できる方法を模索していきます。なるべく可視化して情報を確認しやすいようにしていきます。

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9	現在、行事に地域の方の招待は行っていません。しかし事業所でのイベントとして海岸清掃を実施した際には、地元のご協力を得てごみ処理を行っています。	必要に応じて検討、実施をしています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	マニュアルを作成し、周知できるようにしてあります。また社内で運営TEAMを設立しています。災害対策チームを設置しており、災害や感染症等については、2カ月に1回ほど集団活動を通して児童にも避難訓練や手洗いの重要性を学ぶ機会を設けております。また保護者の皆様におかれましては、「エマージェンシーカード」について説明し、事業所の連絡先や避難先を記載したものをお渡ししております。	マニュアル内容を全職員が把握することを徹底します。緊急時を想定した訓練を実施するとともに「なぜ訓練を実施するのか」という因果関係をお子様にも学んでもらうきっかけにしていきたいです。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	業務継続計画は策定しております。非常災害の計画を立て年に2回は避難訓練を実施しています。その他には感染症対策として手洗い方法の確認や交通安全について学びと実践訓練に取り組んでいます。非常災害時に職員がどう動けばよいかもマニュアルを作成しております。	年間計画を立て計画的に実施していけるよう準備し、訓練を実施します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	保護者様から聴取させていただくことに加え、契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしております。記載していただいた内容は、毎年更新を行い事業所職員で情報を共有し把握するようにしています	お子様を送迎していただいた際、毎回体調に変化が無いかな確認することを徹底しています。お子様が少しでもいつもと様子が違うと気づけるよう本人の様子観察も全職員で徹底します。お子様の状況に関しては事前に保護者様に記載していただく書類を確認し対応できるようにしておきます。
	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	食べ物を提供する事はございません。アレルギーに関しては保護者様からの聴取に加え、契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしております。記載していただいた内容は事業所職員で情報を共有し把握するようにしています。	今後はこちらから食べ物を提供する予定はございません。ですが口腔訓練や屋外活動などの機会に食物に接する機会がございますので、アレルギーに関する情報は全職員が情報を把握するようにしています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	社内で運営TEAMを設立しています。災の中の一つに害対策チームを設置しており、職員向けにもKYTトレーニングをしています。利用児童には災害や感染症等について、2カ月に1回ほど集団活動を通して児童にも避難訓練や手洗いの重要性を学ぶ機会を設けております。また保護者の皆様におかれましては、「エマージェンシーカード」について説明し、事業所の連絡先や避難先を記載したものをお渡ししております。	マニュアル内容を全職員が把握することを徹底します。緊急時を想定した訓練を実施するとともに「なぜ訓練を実施するのか」という因果関係をお子様にも学んでもらうきっかけにしていきたいです。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	安全面に考慮し、アレルギーの把握や服薬状況、OPE歴、リスクに関しては必ず保護者様に確認を取るようにしています。	引き続き安全面に考慮し、アレルギーの把握や服薬状況、OPE歴、リスクに関しては必ず保護者様に確認を取るようにしています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット事例集を作成しております。実際にあったヒヤリハットや現場で想定されるヒヤリハットな状況を全職員で考え、ケガや事故の予防に努めております。ハインリッヒの法則を意識し、少しでもヒヤリとした内容は報告するようにしています。	ヒヤリハットに関しましては全事業所で事例を共有しています。引き続き実際にあったヒヤリハットや現場で想定されるヒヤリハットな状況を全職員で考え、ケガや事故の予防に努めていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会を設置しております。委員会スタッフによりマニュアルを作成し、定期的に見直しも全職員に周知するよう取り組んでいます。	年間計画を立て計画的に研修を実施していけるようにします。引き続き職員の技術・知識向上のための研修機会を多く設けていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	身体拘束適正化検討委員会を設置しています。委員会スタッフによりマニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。止む終えず身体拘束を行う必要がある場合はマニュアルに準じて決定いたします。身体拘束に関しては初回利用時にお渡しする「利用契約書第6条」に記載しています。	身体拘束に関してのマニュアルを作成し、全職員が止む終えず拘束対応する場合にマニュアルに準じて行動できるよう情報の共有をします。止む終えず身体拘束の必要性がある場合は、必ず保護者様と相談の上で決定させていただきます。

令和7年2月1日よりKOMAキッズ鈴鹿、KOMAキッズ鈴鹿2号館は  
HARVEST HOMEとして営業しております。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	KOMAキッズ鈴鹿	公表日	令和7年2月7日
------	-----------	-----	----------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	集団活動、個別活動でのスペースを調整し、工夫しながら空間を使っています。	職員同士連携を取りながら空間を使っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	事業所間で連絡を取り合いサポートできる体制を整えています。	現在よりも利用児童数が増えた場合も、体制を整えて安全に療育が受けられるように努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	玄関、トイレ等にイラストを用いた視覚提示をしています。	理解しやすい環境設定をしています。玄関アプローチの階段に色付けをして分かりやすい提示をいします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	整理整頓を毎日意識し、換気や清掃を徹底しています。	引き続き整理整頓を実施し、生活空間を整えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	個々に合わせて個別の部屋が使用できるようにしています。	個室が一つしかないので、パーテーション等で、仕切るようにして、指導員が常にそばにいるようにしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	事業所内で話し合う機会を設けて業務改善に取り組んでいます。	これからより良い療育が提供できるように努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	取りまとめた意見を参考に話し合いを設けて業務改善に取り組んでいます。	課題に対しては早急に取り組んでいくようにしていくとともに、改善に向けて内容の見直しを行っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	定期的な会議を持ち、業務改善につなげています。	その都度対応できるようにし、業務改善につなげていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	過去、第三者機関に評価いただいたことがありません。	今後はオンライン監査や集団指導などを活用していきたいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	1か月に1度は研修を行っています。	法人内でも2ヶ月に1度は必ず研修を行っています。わからないことや迷ったときに聞けるシステムがあり、今後も活用していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	個々に合わせてプログラム作成をチームで行っているとともに、関係機関にも周知しています。	今後もプログラム作成をチームで行っていき、検討事項があれば早急に解決し公表していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	保護者様の困り事やお子様の情報を基に話し合い計画を立てています。	お子様の情報にくわえて、各評価、検査をもとに話し合い計画を立てて取り組んでいます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	お子様の情報を基に、児童発達管理責任、支援職員と話し合いを用いて検討しています。	今後も子供の最善の利益を考慮し、話し合いを持ちながら支援計画を作成していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	保護者様からお伺いした情報をもとに、ご要望に添える支援ができるように努めています。	今後もより良い療育をご提供できるようにブラッシュアップしながら努めています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	自社内のツールを用いてのフォーマルアセスメントを行い、日々の行動観察を含むインフォーマルアセスメントを行っています。	今後も日々のアセスメントを怠ることなく行っていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	支援計画の内容に基づいて療育を実施出来るように心がけるとともに、丁寧な説明が行っていただけるよう継続して実施していきます。	今後もより良い療育をご提供できるように努めています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	検討チームを構成し、季節や時期に応じた内容を提供できるように努めています。	引き続き情報共有をおこない、楽しく学べるよう努めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	日々みんなで話し合いをし、検討しています。	お子様が楽しく参加できるように、工夫し支援目的とプログラムがずれない様に取り組んでいます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個別活動と集団活動が上手く組み合わせるよう療育を展開しています。	今後もより良い療育をご提供できるように努めています。
適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	午前、午後ともに事前打ち合わせを行い活動の動き、役割分担を確認しています。	今後もより良い療育をご提供できるように努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	午前午後ともに振り返りを行い、知り得た情報を共有しています。	引き続き職員間で支援の振り返りや情報などを共有していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	データとして残していき活用しています。	指導員全員がより良い療育を提供できるように話し合う機会を設けて支援検証・改善につなげていきます。
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	日々の療育での内容に基づきモニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っています。	引き続き定期的なモニタリングを行い必要に応じて見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	児童発達支援管理責任者が参加しています。	今後管理者以外も参加の機会を増やし、人材育成に努めています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	必要に応じて保護者様を通して主治医等と連絡を取ることで連携を図っています。	今後も必要に応じ対応していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	支援内容の情報を共有できるようにお子様が当事業所を利用している様子の見学していただいたり情報を共有しています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	利用時の様子をお話したり、要望があれば園や学校に訪問をさせていただいています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。

関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0	当社各アドバイザーが、困りごと、療育の在り方などの助言の機会を設けてきています。	今後も助言いただけるような機会を作っていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	まだ地域の活動などに参加できていません。	今後は積極的に参加できるような機会を設けていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	HAGシステムで状況、課題等、共通理解できるようにお伝えできている。	今後も共通理解できるように、お便りや直接会う機会を増やしていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	個別対応をしています。保護者様のお悩みに応じて行っています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時にご説明させていただいております。ご不明な点やご質問等には随時お答えさせていただいております。	今後も保護者様が分かりやすいご説明ができるよう努めていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	アセスメントを取らせていただき、モニタリングを行わせていただいています。	引き続き意向を確認できる。機会を設けていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	支援計画を保護者様に配布させていただいております。	引き続き支援計画を配布させていただきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	保護者様のご要望があれば必要に応じて話し合いの場を設けております。	引き続き保護者様のご要望に応じて話し合いができるように努めていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	保護者様とお子様と一緒に参加できる保護者交流会を開催しています。	今後も定期的に行っていきたいと思っております。
保護者への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	マニュアルを設けて適切に対応できるように努めています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	4	月に1度、紙媒体でお知らせを配布しています。HPや各種SNSでの発信も随時更新しています。	今後も様々な企画をし、発信していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報厳重に扱うように、全職員で徹底しています。	引き続き個人情報の扱いは細心の注意を払っていきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	事業所専用タブレットで児童の様子を撮影し本人、保護者様の連絡用に用いています。情報を可視化して伝えるように心がけています。	今後もお子様、保護者様とコミュニケーションを大切に、情報伝達に努めてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	地域住民の方との触れ合える時間が持てていません。	今後は地域の方と触れ合える機会を設けていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	勉強会を行い、マニュアル作成ができています。	今後は定期的な訓練を行っていきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	非常災害発生時におけるマニュアルをもとに職員間で周知するようにしています。また避難訓練も実施しています。	今後も防災意識の向上を図っていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	保護者様に契約時お渡しする書類に記載していただくようにしています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	アレルギーに関しては、保護者様に契約時お渡しする書類に記載していただくようにしています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	定期的に研修会や勉強会を行い職員全体に周知を行っています。	今後も研修会に積極的に参加して勉強を行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	マニュアルを基に、周知していただけるように発信しています。	以前のものに比べてよい連絡ツールができたのでお配りし周知していただけるように努めていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	実際にあったヒヤリハットや、想定されるヒヤリハットの状況を全員で考えて、けがや事故の予防に努めています。	今後もヒヤリハット事例を検討し、事故防止に努めていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	マニュアルを作成し、全員に周知するよう取り組んでまいります。	職員の技術、知識向上に努めていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	マニュアルを作成し、全員に周知するよう取り組んでいます。やむを得ず身体拘束を行う場合はマニュアルに準じて決定致します。	身体拘束の必要性がある場合、保護者様とご相談の上決定させていただきます。	